

注3

**大学番号：259**

[平成22年度設置]

計画の区分：学部学科の設置

注1

**認可**

神奈川工科大学 応用バイオ科学部 栄養生命科学科

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 幾徳学園  
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 ソウ ム カチョウススキ ツトム  
総務課長 鈴木 勉

電話番号 046-291-3042

F A X 046-241-6828

e-mail tsutomu@kait.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

「意見伺い」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 幾徳学園

## (2) 大学名

神奈川県工科大学

## (3) 大学の位置

〒243-0292

神奈川県厚木市下荻野1030番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(ナカベ ケンイチロウ) 中部 謙一郎 (平成14年8月1日)		
学長	(コミヤ カズミ) 小宮 一三 (平成21年4月1日)		
応用バイオ科学部長	(マツモト クニオ) 松本 邦男 (平成20年4月1日)		
栄養生命科学科長	(エサシ タカトシ) 江指 隆年 (平成22年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
応用バイオ科学部 栄養生命科学科  学士(栄養学)	4年	80人	0人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	80 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	80 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	0.82倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	203 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	372 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	200 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	360 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	105 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	189 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	47 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	86 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A							0.58		1.07			

- (注) ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年度で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含まれていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。  
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

応用バイオ科学部

栄養生命科学科

学年 \ 対象年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	備考
1年次			[ - ] 47	[ - ] 86	
2年次					
3年次					
4年次					
計			[ - ] 47	[ - ] 86	

(注) ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	% <hr/>
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	% <hr/>
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	(主な退学理由)		
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ - ]	(累積)計 [ - ]	2.12% <hr/>
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 1人	うち平成22年度 47人	
(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学 1名			

- (注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度(前年度までの確定した)在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
  - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
    - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
    - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<応用バイオ科学部 栄養生命科学科>

### (1) 授業科目表（専門科目）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
分類Ⅲ	社会・健康と環境	栄養生命科学概論	1前	2			1	1			
		健康管理論	2後	2			1				
		公衆衛生学	2前	2			1				
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学Ⅰ	1後	2			2				
		解剖生理学Ⅱ	2前	2			2				
		解剖生理学実験	2前	1			1				
		生化学Ⅰ	1前	2			2				
		生化学Ⅱ	1後	2			2				
		生化学実験Ⅰ	1前	1			2				
		生化学実験Ⅱ	1後	1			2				
		微生物学	1後	2				1			
		微生物学実験	1後	1				1			
		病理病態学Ⅰ	2後	2					1		
		病理病態学Ⅱ	3前	2					1		
	食べ物と健康	食品学Ⅰ	1後	2			1	1			
		食品学実験Ⅰ	1後	1			1	1			
		食品学Ⅱ	2前	2			1	1			
		食品学実験Ⅱ	2前	1			1	1			
		食品衛生学	2前	2				1			
		食品衛生学実験	2前	1				1			
調理学		1前	2			1					
調理学実験		2前	1			1					
調理学実習Ⅰ		1前	1			1					
調理学実習Ⅱ		1後	1			1					
分類Ⅲ	基礎栄養学	基礎栄養学	2前	2			2	1			
		基礎栄養学実験	2前	1			2	1			
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	2後	2			1				
		応用栄養学Ⅱ	3前	2			1				
		応用栄養学Ⅲ	3後	2			1				
		応用栄養学実習	2後	1			1				カリキュラム充実の理由により、配当年度を変更(23)
			3後								
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	2後	2			1				
		栄養教育論Ⅱ	3前	2			1				
		栄養教育論Ⅲ	3後	2			1				
		栄養教育論実習Ⅰ	3前	1			1				
		栄養教育論実習Ⅱ	3後	1			1				
	臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	2前	2			1				
		臨床栄養学Ⅱ	2後	2			1		1		
		臨床栄養学Ⅲ	3前	2			1		1		
		臨床栄養学Ⅳ	3後	2			1				
		臨床栄養学実習Ⅰ	3前	1						1	
		臨床栄養学実習Ⅱ	3後	1						1	
	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	2後	2			1				
		公衆栄養学Ⅱ	3前	2			1				
公衆栄養学実習		3前	1			1					
給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ	2前	2			1					
	給食経営管理論Ⅱ	2後	2			1					
	給食経営管理実習	2後	1			1					
総合演習 臨地実習	総合演習	3通・4通	2			5	1		1		
	臨地実習Ⅰ（臨床栄養）	3通・4通	2			1				5	
	臨地実習Ⅱ（公衆栄養）	3通・4通		1		1				5	
	臨地実習Ⅲ（給食経営管理）	3通・4通		1		1				5	
	臨地実習Ⅳ（給食の運営）	3通・4通	1			1				5	
専門演習	卒業研究	4通	4			11	4				

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
分類 Ⅲ	専門 発展 科目	栄養サポートチーム(NST)論	3後	2					1		
		食品加工学	3後	2		1					
		食品工学	3後	2			1				
		食品官能評価論	4後	2		1					
		食品物性学	3前	2		1					
		食品分析学	2前	2			1				
		食品機能学	3前	2		1					
		管理栄養士基礎セミナー	2後	2		1					カリキュラム充実の理由により、科目を追加 (23)
		専門演習Ⅰ	4前	1							カリキュラム充実の理由により、科目を追加 (23)
	専門演習Ⅱ	4後	1							カリキュラム充実の理由により、科目を追加 (23)	
	専門 関連 科目	遺伝子工学	3前		2			1			
		分子生物学	3後		2			1			
		分子栄養学	3後		2				1		
		免疫化学	3後		2		1				
		臨床生化学	4後		2		1				
		インターネット技術Ⅰ	2後		2		1				
		インターネット技術Ⅱ	3前		2		1				
		ネットワーク工学	2前		2		1				
		WEB技術入門	2前		2		1				
		音声情報処理	2後		2		1				
画像情報処理		2後		2		1					
パターン情報処理	3前		2		1						
プロ ジェ クト 科目	α 資格取得プロジェクトⅠ(食品産業)	3通・4通		2						カリキュラム充実の理由により、科目を追加 (23)	
	α 資格取得プロジェクトⅠ(スポーツ)	3通・4通		2						カリキュラム充実の理由により、科目を追加 (23)	
	α 資格取得プロジェクトⅠ(家電)	3通・4通		2						カリキュラム充実の理由により、科目を追加 (23)	
	α 資格取得プロジェクトⅠ(臨床栄養)	3通・4通		2						カリキュラム充実の理由により、科目を追加 (23)	
	α 資格取得プロジェクトⅠ(食育・栄)	3通・4通		2						カリキュラム充実の理由により、科目を追加 (23)	

(注)・届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。

- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
51	21	0	72	52	27	0	79	
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ 1 ]	[ 6 ]	[ ]	[ 7 ]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

【該当科目無し】

(注)・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

【該当科目無し】

(注)・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\phantom{0.00}}$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください

## 2 授業科目の概要

<応用バイオ科学部 栄養生命科学科（基礎教養教育センター）>

### (1) 授業科目表（共通科目）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
分類Ⅰ（共通科目）	導入科目	自分探しの心理学	1前	2				1				
		現代社会を考える	1前	2				1				
		社会参加とボランティア	1前	2				1				
		新聞を読む	1前	2				1				
		表現技法	1前・後	2				1	1			
	人文系科目	文学	1・2前後		2				1			
		哲学	1・2前後		2				1			
		心理学	1・2前後		2				1			
		倫理学	1・2前後		2				1			
		教育学	1・2前後		2			1				
	カウンセリングと現代	1・2前後		2					1			
	社会科学系科目	経済学Ⅰ	1・2前		2		1		1			
		経済学Ⅱ	1・2後		2		1		1			
		社会学	1・2前後		2			1				
		法学Ⅰ	1・2前		2		1		2			
法学Ⅱ－日本国憲法－		1・2後		2		1		2				
地理学		1・2前後		2				1				
政治学		1・2前後		2				1				
日本近現代史		1・2前後		2				1				
アジアの社会と文化		1・2前後		2				1				
融合科目	社会心理学	3前後		2		1						
	福祉社会論	3前後		2			1					
	現代社会の法	3前後		2		1						
	現代教育論	3前後		2			1					
	美術史にみる比較文化論	3前後		2			1					
	国際経済論	3前後		2		1						
論理学	3前後		2				1					
分類Ⅰ（共通科目）	1bグループ 外国語科目	英語基礎Ⅰ－A	1前	1		2	1	4				
		英語基礎Ⅰ－B	1前	1		2	2	5				
		英語基礎Ⅱ－A	1後	1		2	1	4				
		英語基礎Ⅱ－B	1後	1		2	2	5				
		科学英語Ⅰ－A	2前	1		1	1	2				
		科学英語Ⅰ－B	2前	1		2	2	2				
	1cグループ 保健体育系科目	健康・スポーツ科学実習	1通		2		2		8			
		応用スポーツ実技	2通		1		2		3			
		生涯スポーツ実技	3通		1		1		2			
		健康科学論	2前後		2		1					
身体運動科学論	3前後		2		1		1					
分類Ⅱ（共通科目）	導入・基礎 科学科目	化学基礎	1前	2			1					
		化学基礎実験	1前	1			1					
		生物学概論Ⅰ	1前	2				1				
		生命科学概論	1後	2				1				
		生命倫理	4前		2				1			
情報系 科目	情報リテラシー	1前		1		1						
	情報処理実習	1前		+		+					カリキュラムを体系化し、より充実したものにすため(23)	
	情報検索実習	2後		+			+				カリキュラム体系の変更により、廃止(23)	
	情報管理実習	3前		+			+				カリキュラム体系の変更により、廃止(23)	

(注)・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。

- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません。)

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 44	科目 0	科目 48	科目 4	科目 42	科目 0	科目 46	
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ Δ2 ]	[ ]	[ Δ2 ]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:Δ1)

(3) 未開講科目

【該当科目無し】

(注)・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	情報処理実習	2	1前	一般	選択	カリキュラム体系の変更、有
2	情報検索実習	2	2後	一般	選択	カリキュラム体系の変更、有
3	情報管理実習	2	3前	一般	選択	カリキュラム体系の変更、有

(注)・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

カリキュラム体系の変更のため。新規科目を開講しており学生一人ひとり履修指導を行なっている。

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	=	4.17%
届出時の計画の授業科目数の計		

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	74,140.08㎡	0㎡	0㎡	74,140.08㎡			
	運動場用地	50,568.75㎡	0㎡	0㎡	50,568.75㎡			
	小 計	124,708.83㎡	0㎡	0㎡	124,708.83㎡			
	そ の 他	9,794.92㎡	0㎡	0㎡	9,794.92㎡			
	合 計	134,503.75㎡	0㎡	0㎡	134,503.75㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		80,976.47㎡ ( 80,976.47㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	80,976.47㎡ ( 80,976.47㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室 53室	演 習 室 28室	実験実習室 73室	情報処理学習施設 14室 (補助職員 2人)	語学学習施設 0室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		栄養生命科学科			16 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	栄養生命科学科	4,494 〔399〕 5,144 〔400〕	24 〔0〕 29 〔0〕	10 〔10〕 29 〔29〕	20 (20)	8,887 (8,887)	31 (31)	
	計	4,494 〔399〕 5,144 〔400〕	24 〔0〕 29 〔0〕	10 〔10〕 29 〔29〕	20 (20)	8,887 (8,887)	31 (31)	
(6) 図 書 館		面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
		5,204.22㎡	427		230,000冊			
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		3,073.51㎡	雨天練習場 260 ㎡ スタジアム棟 442.3 ㎡					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	330千円	330千円	図書購入費	32,919千円	1,000千円	4,000千円
	共同研究費等	1,563千円	1,563千円	設備購入費	216,397千円	15,000千円	25,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,500千円	1,320千円	1,330千円	1,340千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

(注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	神奈川工科大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
<b>工学部</b>									
機械工学科	4	140	-	580	学士 (工学)	1.13	昭和50年		
電気電子情報工学科	4	70	-	280	学士 (工学)	1.34	昭和50年		
応用化学科	4	60	-	270	学士 (工学)	1.29	昭和50年		
システムデザイン工学科	4	-	-	-	学士 (工学)		昭和61年		平成18年より 学生募集停止
福祉システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)		昭和61年	神奈川県厚木市 下荻野1030番地	平成18年より 学生募集停止
<b>情報学部</b>									
情報工学科	4	140	-	580	学士 (工学)	1.13	平成15年		
情報ネットワーク・ コミュニケーション学 科	4	100	-	500	学士 (工学)	1.11	平成16年		
情報メディア学科	4	170	-	600	学士 (工学)	1.21	平成16年		
<b>創造工学部</b>									
自動車システム開発工学科	4	75	-	380	学士 (工学)	0.97	平成18年		
ロボット・メカトロニクス 学科	4	80	-	340	学士 (工学)	1.04	平成18年		
ホームエレクトロニクス開 発学科	4	50	-	200	学士 (工学)	1.10	平成20年		
<b>応用バイオ科学部</b>									
応用バイオ科学科	4	120	-	410	学士 (工学)	1.34	平成18年		

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<応用バイオ科学部栄養生命科学科>

(1) 担当教員表(専門)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授	松本 邦男	平成22年4月	生化学 I 生化学 II 生化学実験 I 生化学実験 II 卒業研究						
専	教授	田中 平三	平成22年4月	公衆栄養学 I 公衆栄養学 II 公衆栄養学実習 臨地実習 II (公衆栄養) 総合演習 卒業研究				平成23年4月	公衆衛生学 健康管理論	生田清美子教授の就任辞退により担当科目追加
専	教授	真鍋祐之	平成22年4月	栄養生命科学概論 応用栄養学 I 応用栄養学 II 応用栄養学 III 卒業研究	専任	教授	饗場 直美	平成23年4月	栄養生命科学概論	本人都合により退職 (ACにより担当教員変更) 他に担当教員が多数いるため補充なし
					専任	教授	辻 悦子	平成23年4月	応用栄養学 I	
								平成24年4月	応用栄養学 II	
									応用栄養学 III	
専	教授	江指 隆年	平成22年4月	基礎栄養学 基礎栄養学実験 卒業研究	専任	准教授	花井 美保	平成23年4月	基礎栄養学実験	担当教員の変更
専	教授	五十嵐 脩	平成22年4月	食品学 I 食品学実験 I 食品学 II 食品学実験 II 食品加工学 食品衛生学 卒業研究	専任	教授	澤井 淳	平成23年4月	食品衛生学	担当教員の変更
専	教授	辻 悦子	平成22年4月	応用栄養学 I 応用栄養学 II 応用栄養学 III 卒業研究						
専	教授	清瀬 千佳子	平成22年4月	基礎栄養学 基礎栄養学実験 食品機能学 化学基礎 化学基礎実験 卒業研究	専任	教授	江指 隆年	平成23年4月	基礎栄養学	担当教員の変更
					専任	准教授	花井 美保	平成23年4月	基礎栄養学	担当教員の変更
					専任	准教授	花井 美保	平成23年4月	基礎栄養学実験	担当教員の変更
専	教授	生田 清美子	平成23年4月	公衆衛生学 健康管理論 解剖生理学 II 解剖生理学実験 病理病態学 I 病理病態学 II 卒業研究	専任	教授	田中 平三	平成23年4月	公衆衛生学 健康管理論	本人都合により担当辞退 (ACにより担当教員変更) 他に担当教員が多数いるため補充なし
					専任	教授	石川 俊次	平成23年4月	解剖生理学 II	
					専任	教授	松尾 崇	平成23年4月	解剖生理学 II	
					専任	教授	石川 俊次	平成23年4月	解剖生理学実験	
					兼任	講師	本間 康彦	平成23年4月	病理病態学 I	
					専任	教授	石川 俊次	平成23年4月	病理病態学 I	
					兼任	講師	本間 康彦	平成23年4月	病理病態学 II	
専	教授	石川 俊次	平成22年4月	臨床栄養学 I 臨床栄養学 II 臨床栄養学 III 解剖生理学 I 臨地実習 I (臨床栄養) 総合演習 卒業研究				平成23年4月	病理病態学 I 解剖生理学実験	生田清美子教授の就任辞退により担当科目追加

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授	饗場 直美	平成23年4月	栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ 栄養教育論Ⅲ 栄養教育論実習Ⅰ 栄養教育論実習Ⅱ 総合演習 卒業研究				平成23年4月	栄養生命科学概論	既編任の教授の退職により担当科目追加
専	教授	高橋 智子	平成22年4月	調理学 調理学実験 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 応用栄養学実習 食品物性学 食品官能評価論 総合演習 卒業研究						
専	准教授	松月 弘恵	平成23年4月	給食経営管理論Ⅰ 給食経営管理論Ⅱ 給食経営管理実習 臨地実習Ⅲ（給食経営管理） 臨地実習Ⅳ（給食の運営） 総合演習 卒業研究						
専	准教授	花井 美保	平成23年4月	基礎栄養学 基礎栄養学実験 卒業研究						
専	准教授	飯島 陽子	平成22年4月	食品学Ⅰ 食品学実験Ⅰ 食品学Ⅱ 食品学実験Ⅱ 卒業研究				平成23年4月	食品分析学	担当科目追加
専	准教授	澤井 淳	平成22年4月	微生物学 微生物学実験 食品衛生学 食品衛生学実験 食品工学 卒業研究						教授に昇格
専	准教授	原島 恵美子	平成22年4月	総合演習 卒業研究				平成23年4月	公衆栄養学Ⅰ	担当科目追加
専	助教	楠木 伊津美	平成22年4月	栄養サポーターチーム(NST)論 臨床栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅱ 総合演習 卒業研究				平成23年4月 平成23年4月	臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ	担当科目追加 担当科目追加
兼任	教授	松尾 崇	平成22年4月	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ	専任	教授	石川 俊次	平成23年4月	解剖生理学Ⅰ	担当教員の変更
兼任	教授	栗原 誠	平成22年4月	生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学実験Ⅰ 生化学実験Ⅱ	専任	教授	松本 邦男	平成23年4月	生化学実験Ⅰ 生化学実験Ⅱ	担当教員の変更 担当教員の変更
								平成24年4月 平成25年4月	免疫化学 臨床生化学	担当者未決定だったため

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	教授	石坂 充弘	平成23年4月	インターネット技術Ⅰ インターネット技術Ⅱ ネットワーク工学	専任	准教授	塩川 茂樹	平成23年4月	インターネット技術Ⅰ	担当教員の変更
兼任	教授	関 靖夫	平成23年4月	画像情報処理 パターン情報処理	専任	准教授	吉野 和芳	平成23年4月	画像情報処理 パターン情報処理	担当教員の変更 担当教員の変更
兼任	教授	納富 一宏	平成23年4月	WE B技術入門	専任	准教授	吉野 和芳	平成23年4月	WE B技術入門	担当教員の変更
兼任	教授	徳弘 一路	平成23年4月	音声情報						
兼任	准教授	山村 晃	平成24年4月	遺伝子工学						
兼任	准教授	清水 秀信	平成23年4月	食品分析学	専任	准教授	飯島 陽子	平成23年4月	食品分析学	担当教員の変更
兼任	准教授	飯田 泰広	平成22年4月	生命科学概論 分子生物学						
兼任	講師	本間 康彦	平成23年4月	臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学Ⅲ	専任	教授	石川 俊次	平成23年4月	臨床栄養学Ⅱ	担当教員の変更
					専任	助教	楠木 伊津美	平成23年4月	臨床栄養学Ⅱ	担当教員の変更
					専任	教授	石川 俊次	平成23年4月 平成24年4月	病理病態学Ⅰ 病理病態学Ⅱ	担当教員の変更 <small>生田清美子教授の職任辞退により担当科目追加</small>
兼任	講師	野田 節子	平成23年4月	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学実験	専任	教授	石川 俊次	平成23年4月	解剖生理学実験	担当教員の変更
兼任	講師	中村 直哉	平成23年4月	解剖生理学Ⅰ						
兼任	講師	黒坂 光寿	平成23年4月	解剖生理学実験						
兼任	講師	荒木 恵美子	平成23年4月	食品衛生学						
兼任	講師	村山 洋	平成24年4月	分子栄養学						
専任補充			平成24年4月	臨床栄養学Ⅳ					担当未決定	A Cにより専任補充

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

・ 年齢は、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。

・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
10	5	0	1	16	5	9	5	0	1	15	5	
(8)	(4)	( )	(1)	(13)	(5)	[ Δ1 ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ Δ1 ]	[ ]	

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	教授	生田 清美子	自己都合により退職
2	教授	真鍋 祐之	自己都合により辞退
3			

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>担当科目は、ACにより担当教員を変更する。                  学生への周知方法は、新年度オリエンテーションにより周知している。</p>
--

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 教員組織の状況

<応用バイオ科学部栄養生命科学科>

(1) 担当教員表 (共通)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	教授	尾崎 正延	平成22年4月	経済学Ⅰ 経済学Ⅱ 国際経済論						
兼任	教授	山本 聡	平成22年4月	法学Ⅰ 法学Ⅱ－日本国憲法－ 現代社会の法						
兼任	教授	安塚 俊行	平成22年4月	社会心理学						
兼任	教授	込田 伸夫	平成22年4月	英語基礎Ⅰ－A 英語基礎Ⅱ－A 科学英語Ⅰ－B 科学英語Ⅱ－B						
兼任	教授	坂場 順子	平成22年4月	英語基礎Ⅰ－A 英語基礎Ⅰ－B 英語基礎Ⅱ－A 英語基礎Ⅱ－B 科学英語Ⅰ－A 科学英語Ⅱ－A						
兼任	教授	池田 広昭	平成22年4月	英語基礎Ⅰ－B 英語基礎Ⅱ－B 科学英語Ⅰ－B 科学英語Ⅱ－B						
兼任	教授	泉川 喬一	平成22年4月	健康・スポーツ科学実習 応用スポーツ実技 生涯スポーツ実技 健康科学論						
兼任	教授	荒川 勝彦	平成22年4月	健康・スポーツ科学実習 応用スポーツ実技 身体運動科学論						
兼任	准教授	田辺 基子	平成22年4月	教育学 現代教育論						
兼任	准教授	三浦 直子	平成22年4月	社会学 福祉社会論						
兼任	准教授	中島 芳郎	平成22年4月	美術史にみる比較文化論	兼任	講師	清水 玲子 中島 芳郎	平成22年11月 平成23年9月予定	美術史にみる比較文化論	病气入院による担当教員の変更
兼任	准教授	師玉 真理	平成22年4月	表現技法						
兼任	准教授	大木 富	平成22年4月	英語基礎Ⅰ－A 英語基礎Ⅰ－B 英語基礎Ⅱ－A 英語基礎Ⅱ－B 科学英語Ⅰ－A 科学英語Ⅱ－A 科学英語Ⅰ－B 科学英語Ⅱ－B						
兼任	准教授	岩本 弘道	平成22年4月	英語基礎Ⅰ－B 英語基礎Ⅱ－B 科学英語Ⅰ－B 科学英語Ⅱ－B						
兼任	講師	高林 久美子	平成22年4月	自分探しの心理学						
兼任	講師	於保 真理	平成22年4月	社会参加とボランティア カウンセリングと現代	兼任	講師	鍋倉 早百合	平成22年4月	カウンセリングと現代	平成22年4月より担当の変更 (22)
兼任	講師	山田 博雄	平成22年4月	新聞を読む 政治学						
兼任	講師	布川 純子	平成22年4月	文学 表現技法						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	赤石 憲昭	平成22年4月	哲学						
兼任	講師	三橋 大輔	平成22年4月	心理学						
兼任	講師	中畑 邦夫	平成22年4月	倫理学						
兼任	講師	亀山 晶子	平成22年4月	カウンセリングと現代					カウンセリングと現代	平成22年4月廃止
兼任	講師	岡田 和彦	平成22年4月	経済学Ⅰ 経済学Ⅱ 現代社会を考える						
兼任	講師	田中 憲彦	平成22年4月	法学Ⅰ 法学Ⅱ－日本国憲法－ 現代社会を考える	兼任	講師	岡田 和彦	平成22年4月	現代社会を考える	平成22年4月より担当者の変更
兼任	講師	神 陽子	平成22年4月	法学Ⅰ 法学Ⅱ－日本国憲法－						
兼任	講師	青木 隆浩	平成22年4月	地理学 現代社会を考える	兼任	講師	松本 久美	平成22年4月	地理学	平成22年3月講師辞任のため担当者の変更 平成23年度休講
					兼任	講師	岡田 和彦	平成22年4月	現代社会を考える	平成22年3月講師辞任のため担当者の変更
兼任	講師	五十嵐 一郎	平成22年4月	日本近現代史						
兼任	講師	趙 聖九	平成22年4月	アジアの社会と文化						
兼任	講師	横井 洋太	平成22年4月	生物学概論Ⅰ						
兼任	講師	佐々 義子	平成25年4月	生命倫理						
兼任	教授	山下 福志	平成24年4月	情報管理実習						
兼任	准教授	市村 重俊	平成22年4月	情報処理実習 情報検索実習						
兼任	講師	堅谷 宏一	平成22年4月	英語基礎Ⅰ－A 英語基礎Ⅱ－A						
兼任	講師	佐藤 保	平成22年4月	英語基礎Ⅰ－B 英語基礎Ⅱ－B	兼任	講師	田村 理恵	平成22年4月	英語基礎Ⅰ－B 英語基礎Ⅱ－B	平成22年3月講師辞任のため平成22年4月より担当者の変更
兼任	講師	杉本 誠	平成22年4月	英語基礎Ⅰ－B 英語基礎Ⅱ－B						
兼任	講師	小暮 正人	平成22年4月	英語基礎Ⅰ－A 科学英語Ⅰ－A 英語基礎Ⅱ－A 科学英語Ⅱ－A						
兼任	講師	宮城 学	平成22年4月	英語基礎Ⅰ－B 科学英語Ⅰ－A 英語基礎Ⅱ－A 科学英語Ⅱ－A						
兼任	講師	松尾 江津子	平成22年4月	英語基礎Ⅰ－A 英語基礎Ⅰ－B 英語基礎Ⅱ－B 英語基礎Ⅱ－B	兼任	講師	後任なし 町田 直子	平成22年4月	英語基礎Ⅰ－A 英語基礎Ⅰ－B 英語基礎Ⅱ－B 英語基礎Ⅱ－B	平成22年3月講師辞任のため 平成22年3月講師辞任のため平成22年4月より担当者の変更
兼任	講師	井上 克彦	平成22年4月	英語基礎Ⅰ－A 科学英語Ⅰ－B 英語基礎Ⅱ－A 科学英語Ⅱ－B						
兼任	講師	佐藤 志津子	平成22年4月	英語基礎Ⅰ－B 英語基礎Ⅱ－B						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	佐藤 寛子	平成22年4月	英語基礎Ⅰ－B 科学英語Ⅰ－B 英語基礎Ⅱ－B						
兼任	講師	後藤 篤志	平成22年4月	健康・スポーツ科学実習	兼任	講師	韓 一栄	平成23年4月	健康・スポーツ科学実習	平成23年3月講師辞任のため平成23年4月より担当者の変更
兼任	講師	菱山 士朗	平成22年4月	健康・スポーツ科学実習						
兼任	講師	佐々木 史之	平成22年4月	健康・スポーツ科学実習 応用スポーツ実技	兼任	講師	土谷 陽祐	平成22年4月	健康・スポーツ科学実習 応用スポーツ実技	平成22年3月講師辞任のため平成22年4月より担当者の変更
兼任	講師	佐野 昌行	平成22年4月	健康・スポーツ科学実習						
兼任	講師	坂元 孝子	平成24年4月	生涯スポーツ実技						
兼任	講師	小谷 究	平成22年4月	健康・スポーツ科学実習 応用スポーツ実技 生涯スポーツ実技	兼任	講師	並木 和彦	平成22年4月	健康・スポーツ科学実習 応用スポーツ実技 生涯スポーツ実技	平成22年3月講師辞任のため平成22年4月より担当者の変更
兼任	講師	山内 亮	平成22年4月	健康・スポーツ科学実習 身体運動科学論	兼任	講師	菊池 直樹	平成22年4月	健康・スポーツ科学実習 身体運動科学論	平成22年3月講師辞任のため平成22年4月より担当者の変更
兼任	講師	佐藤 孝之	平成22年4月	健康・スポーツ科学実習						
兼任	講師	波多腰 克晃	平成22年4月	健康・スポーツ科学実習 応用スポーツ実技						
兼任	講師	小坂田 英之	平成24年4月	論理学						

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 担当教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
9	7	35	0	51	0	9	7	35	0	51	0	
					( )	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			
2			
3			

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	応用バイオ科学部応用バイオ科学科の入学定員超過の是正に努めること。	平成22年度超過率1.46倍を平成23年度において1.2倍に是正した。	

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<応用バイオ科学部 栄養生命科学科>

届出時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	教育の充実のため、7月に2名、9月に1名の教員変更を行い、1月には、教員1名の職位変更をした（准教授から教授へ）。

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>教務委員会（規程別添①参照）</p> <p>教育開発センター（規程別添②参照）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>教務委員会 月に1回（その他臨時）、委員として全学科より1～2名選出・教育開発センター所長出席</p> <p>教育開発センター 月に1回（その他臨時）、所員を選出・教育開発センター所長</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>教務委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学籍、非常勤講師委嘱、単位認定、カリキュラム、履修・成績等の審議及び報告・連絡</li> </ul> <p>教育開発センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育のPDCA</li> <li>・ FD・SDの企画立案、実施、検証</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学士課程の構築</li> <li>・ 授業方法について</li> <li>・ 授業評価アンケート</li> <li>・ 教員相互の授業参観</li> <li>・ 教職員研修会（1泊2日）</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <p>委員会・教育開発センターにて協議され合同教授総会にて承認がなされ決定される。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>授業アンケート（平成22年度） 実施率 専任教員100%・非常勤講師100%</p> <p>教員相互の授業参観 任意参加</p> <p>教職員研修会 専任教職員全員参加</p>
--

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業アンケート調査を集計し「より良い教育を目指して」冊子を作成している。全教職員に配布し目的の理解とより良い授業力アップをはかり学生のレベルアップに寄与している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

幅広く深い教養と豊かな人間性の涵養に加えて、コミュニケーションとそれを基本にした科学的な方法を身に付け、栄養管理に関する基礎的な知識及び基本的な技術と態度を有して、地域社会の医療・保健・産業の向上に貢献する人材を養成することを目的として設置した。本学がもつ情報技術とテクノロジー分野の教育により、多様な情報活用の知識と技能を身に付けることのできるカリキュラムも充実しており、目的については、計画通りに達成されている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表時期

・平成23年4月公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、教職員全員および希望があった学生に各1冊を配布のほか、関連大学および厚木市中央図書館等へ配布  
・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成23年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受けるべく、申請書を提出した。

(注)・届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (4) 情報提供に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 ( 有 )
- b 公表予定時期 ( 平成23年6月1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
( 承諾する )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
( 未定のため後日決定次第ご連絡いたします。 )

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。